

### — 防災研究会「総会」— 新規プロジェクト「都市型防災」

平成13年7月30日 北海道技術士センター防災研究会「総会」が、研究会会員を中心に、高橋陽一センター会長・伊藤昌勝センター副会長の来賓を含めた約70名の出席者により開催されました。冒頭、高宮則夫防災研究会会長の研究会活動に関する主旨説明があり、第Ⅳ期2001.4～2003.3の「新組織体制」および「活動基本方針」が採択されました。

組織体制は、従来どうり事務局の基に情報系・地盤系・交通系・都市系・水工系の5専門部会を置く形（組織表一参照）とし、活動はあくまでも北海道を中心とする国土防災に関する諸問題の研究を目的とすることを再確認しました。

特に、今期は新プロジェクトとして、会員からの公募を幹事会決議とした「都市型防災」のテーマを立ち上げ、5つの専門部会を中心に積極的な防災研究活動に取り組むこととしております。これらの研究成果は、年3回開催予定のセミナーで部会報告する予定であり、最終的には、期限を定めるものではありませんが、対外的なレポートの取りまとめを考えております。

また本会では、CPD継続教育の対応も考慮し総会後「講演会」も並行して実施しました。（写真－1）

まず、基調講演は「札幌市の防災計画について」と題し、札幌市 消防局防災部長 消防正監 徳増澄夫氏より講演をして頂きました。

講演内容は、都市型・地域型防災の取り組みとして

- (1) 防災計画体系
- (2) 水防・土砂災害計画
- (3) 避難場所整備運用計画と自主防災組織
- (4) 放射性同位元素事故対策
- (5) 防災支援システム
- (6) 札幌市域地下構造調査

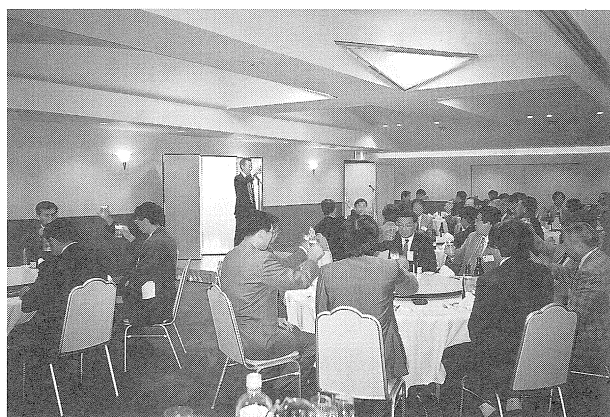
と多岐にわたる内容で、今期プロジェクト「都市型防災」のテーマにふさわしい、防災に関する行政的な取り組みについての貴重な講演でありました。

基調講演の後、引き続き2件の「話題提供」がありました。1件目の話題提供は「スパイクタイヤ規制後10年」と題し、独立行政法人北海道開発土木研究所 交通研究室室長 浅野基樹氏より話しをして頂きました。スパイクタイヤ規制の環境面での評価と防災の面からとらえた冬期道路管理対策の本格的取り組みについての貴重な内容でありました。

2件目は「都市防災と情報伝達」と題し、(株)ド



写真－1 基調講演



写真－2 懇親会

コン 防災対策室長 川北 稔氏より話題提供をして頂きました。都市における防災・減災のための情報活用の取り組みとして、都市の特殊性の理解と把握・史的観点に立った災害特性把握とまちづくり・災害認識の即時性と情報伝達の同時多元化の課題検討の必要性に関する非常に有意義な話題提供でありました。

総会・講演会終了後、会場をかえて 50 名の出席者により「懇親会」が催されました。(写真－ 2)

冒頭、松井義孝防災研究会副会長の開会挨拶、能登繁幸防災研究会顧問の乾杯で始まり、最後まで和やかな雰囲気での懇親会でありました。

懇親会では、話題提供者の 2 人からの御挨拶・新

規入会者の自己紹介・専門部会部会長と部会幹事からの今後の展望・主たる技術士活動報告が次々となされ、ほぼ全員にマイクが回る気の抜けない非常に盛況なものとなりました。非常に懇親が深まったものと思います。

防災研究会では、今後も技術士が社会に果たす役割を念頭に、防災に関する認識向上の視点から、幅広く研究活動を進めていきたいと考えております。防災研究会は、現段階で総会員数は 79 名です。そのうち新規会員が 33 名もおり活躍が期待されております。今後も広く入会者を募っていますので、入会希望者は御連絡下さい。

(文責：冨澤 幸一)

防災研究会組織表

事務局

会 長	高宮 則夫
副 会 長	松井 義孝
幹 事 長	冨澤 幸一
副幹事長	林 宏親

平成 13 年 7 月 30 日

